品目	品種	作型
きゅうり	ゆうみ637	ハウス抑制栽培
10aあたり労働時間		
768.0		

1．経営モデル収支　　単位：円

項目		10aあたり	備考
収入	数　量(kg)	9,000	
	単　価(円/kg)	350	
	【①】	3,150,000	
変動費	種　苗　費	228,000	購入苗
	肥　料　費	115,000	
	農業薬剤費	31,500	
	光熱動力費	76,580	
	その他諸材料費	156,000	
	賃借料及び料金	0	
	土地改良及び水利費	0	
	流通経費	940,200	流通手数料・運賃　他
	計　【②】	1,547,280	
固定費	雇　人　費	0	
	小農具費	47,740	
	物件税及び公課諸負担	40,560	固定資産税
	修　繕　費	64,180	
	減価償却費	622,280	
	支払利子	27,520	
	計　【③】	802,280	
経　費　計　【②＋③＝④】		2,349,560	
所　得　額　【①－④】		800,440	
所　得　率		25.4%	

2．建物・施設・機械装備

（1）建物・施設　　単位：円

no.	名称	単価	金額
	規格・構造・規模	数量	耐用年数
1	ビニールハウス	7,000,000	7,000,000
	5.4m×45m×4棟	1	10
2	作業舎	6,000,000	6,000,000
		1	15
3			
4			
5			

（2）機械装置・車両

no.	名称	単価	金額
	規格・構造・規模	数量	耐用年数
1	トラクター	2,300,000	2,300,000
	25ps	1	7
2	管理機	150,000	150,000
		1	7
3	動力噴霧器	150,000	150,000
		1	7
4	暖房機	750,000	750,000
	100,000kcal	1	7
5	軽トラック	750,000	750,000
		1	4
6			
7			
8			

3．特記事項

～前提条件～

① 10aあたりの経済性とする。
② 販売単価は系統販売のみとする。
③ 農薬・肥料・資材等はJAの単価を参考にする。
④ 定植苗（購入苗）での栽培とする。
⑤ 選果場利用を前提とする。
⑥ ハウス被覆資材は3年に1回の交換を考慮。
⑦ 減価償却費
◆法定耐用年数により算出する。
◆他部門・他作物との複合経営を前提とし、当該品目における利用率・負担割合にて算出する。

4．作業スケジュール 【無加温栽培との2作型体系を考慮】

	月・旬 / 項目	1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1	定植準備																						■														
2	定植																							■													
3	つる上げ																									■											
4	整枝・摘葉																									■	■	■	■	■	■	■	■	■			
5	潅水・追肥																							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
6	温度管理																							■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
7	病害虫防除																									■	■	■	■	■	■	■	■	■			
8	収穫・出荷																										■	■	■	■	■	■	■	■	■		
9	後片付け																																		■		
10																																				
11																																				
12																																				
13																																				
14																																				
15																																				